

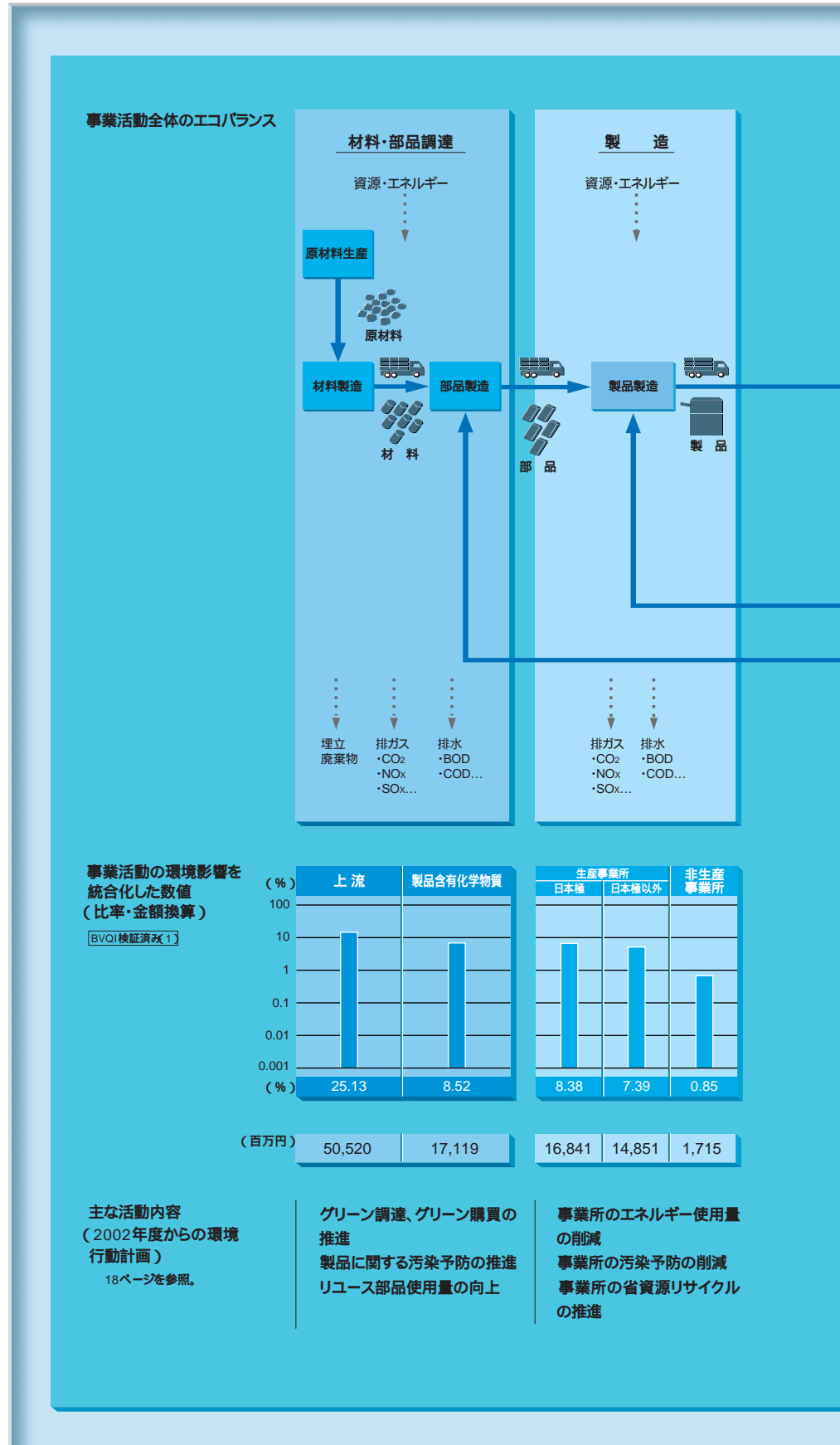
環境負荷の把握(エコバランス)

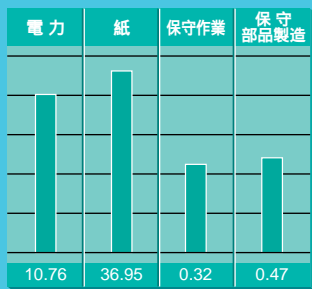
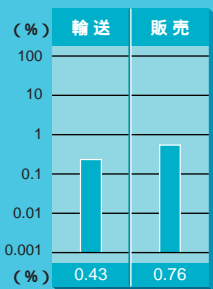
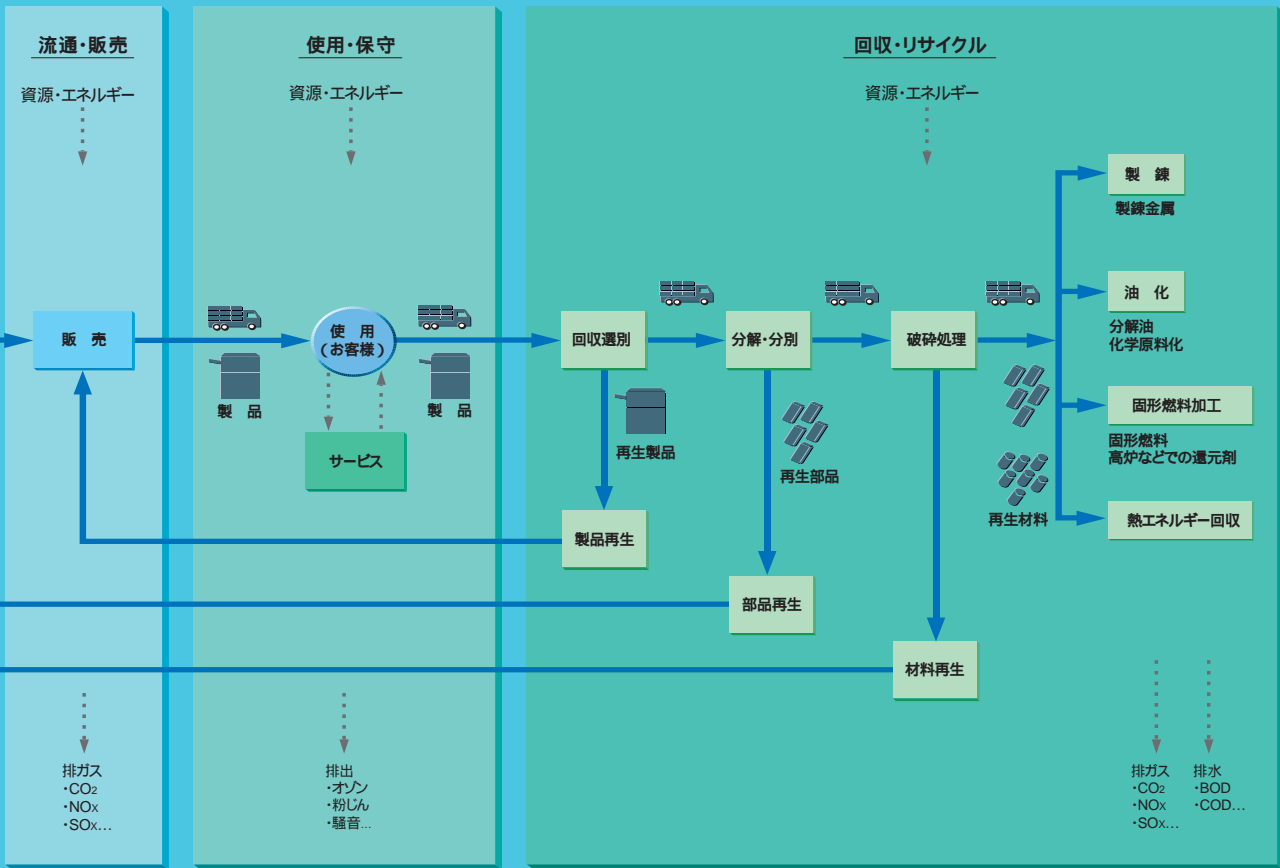
事業活動全体の環境影響を数値で捉え、環境行動計画に反映しています。

前ページの「環境経営情報システム」で収集したデータをもとに、工程別の環境負荷データと金額を算出し、事業活動全体の「エコバランス^{*1}」を表したのが右の図です。これは、温暖化、オゾン層破壊、生態系への影響など、事業活動によるあらゆる環境影響を、統合化分析手法によって数値化したものです。リコーは1999年度から、この手法によって事業活動の環境影響を把握してきました。その結果、材料や部品などの製造を意味する「上流」、鉛などの「製品含有化学物質」、そしてお客様が使用される「紙」による環境影響が非常に大きいことが判明しました。より効果的な環境保全活動を展開していくために、リコーグループでは、上記の3工程の環境負荷を重点的に削減して行くと共に、それ以外の工程においても積極的な施策を展開していきます。2002年度からの新たな環境行動計画^{*2}は、この手法によって得られたデータをもとに策定しました。

*1 エコバランスとは、企業が発生させる環境負荷を定量的に測定・把握・報告する手段として、環境負荷のインプット/アウトプットデータの一覧表を作成すること、または一覧表そのものを意味します。

*2 18ページを参照。





872 1,522

21,624 74,294 639 950

72

グリーン販売の推進
資源循環型製品の
販売台数の向上

製品の省エネルギーの推進
紙の環境負荷削減に寄与する技術
の開発

使用済み製品、トナーカートリッジ回収率の向上
使用済み製品、トナーカートリッジ再資源化率の向上